

GYM NET ビギナーズ体操大会 競技・採点規則

2015年(第10回大会)～



通称“マット大会”から始まった「ビギナーズ体操大会」は、第7回大会から従来の「マット部門」に加えて、「マット・跳び箱・鉄棒のセカンドステージ」を実施してきました。

第10回大会からは“マット”“跳び箱”“鉄棒”の3種目の競技で行っています。幼児の部は今まで通りマット運動のみで行います。

1種目または2種目の実施であっても、個人総合と演技した種目の種目別表彰の対象になります。1～4年生は低学年のセットで、5～中学生は高学年のセットで競技を行います。表彰は次の8カテゴリーの個人総合と種目別で行います。

【小学生1・2年】 【小学生3・4年】 【小学生5・6年】 【中学生】 各男女

ビギナーズ体操大会の採点指針および評価すべき演技の方向性についての提案

技の難易度に関係なく、立ち姿勢も含めた姿勢の美しさ、身体を伸び伸びと大きく使った表現、指先つま先までコントロールされた美しさ、生き生きとした躍動感、リズムやテンポの良さ、型にはまらない独創的な要素や組合せの工夫など、体操の質の高さを求めていきたいと考えます。

指導者と審判を務めてくださる先生方との共通理解をさらに深め、ビギナーズ体操大会が発展すべき方向に関係者みんなで考えながら、大会を作っていきましょう！

I. 幼児の部

- ・マット1往復以内の自由演技とする
- ・得点による評価はせず、特に評価すべき演技に対して審査員特別賞を授与する

Ⅱ. 小中学生の部 (全て自由演技)

1. 得点構成等

マット・鉄棒 【最高得点 10.00】

難度	3.2 (0.4×8 要素)
	注1: 難度表に記載されていない技、運動要素も難度として認める (例) マット 伸身ジャンプ 鉄棒 腕支持からの後ろ振り上げ 背倒立 など 足かけスイング など
	注2: 同一要素を2回まで要素として数える
種目特別要求	0.6 (0.2×3 要求)
加點	0.8 (0.2×4) 「柔軟性」「美しい動き、姿勢」「雄大な演技」「安定した着地」
実施	5.4
その他	①マットの演技時間は60秒以内とする。(タイムオーバーの減点あり) ②鉄棒演技開始時の踏み台の使用可。

跳び箱 【最高得点 10.00】

難度	すべての跳躍技に9.0の価値を与える
加點	1.0 (0.2×5) 「スピード」「高さ」「距離」「正確で美しい姿勢」「安定した着地」
その他	①跳躍は1回のみとする。 ただし、1回目の得点が0点の場合のみ2回目の跳躍ができる。 ②跳び箱の高さは低学年90cm、高学年110cm程度。 縦向き・横向きどちらで跳んでもよい。

2. 演技の要求

マット	①前方系の運動	低鉄棒	①前方系の運動
	②後方系の運動		②後方系の運動
	③柔軟性を表現する運動		③片足かけまたは背面支持を経過する運動

3. 減点

一尻もち等の大過失 一著しく柔軟性に欠ける	各0.3
一やり直しでの実施、運動の停滞 ※鉄棒でのダブルスイング的な運動に対する減点はしない 一膝・肘の大きな曲がり 一大きな脚の開き 一柔軟性に欠ける	各0.2
一膝・肘の曲がり 一脚の開き 一つま先 一ゆるみ	各0.1
一タイムオーバー	0.1
一着地の乱れ	各0.2まで
(マット、鉄棒) 一演技全体を通して、スピードに欠ける 〃 連続性・リズム・テンポの良さに欠ける	0.2まで 〃